

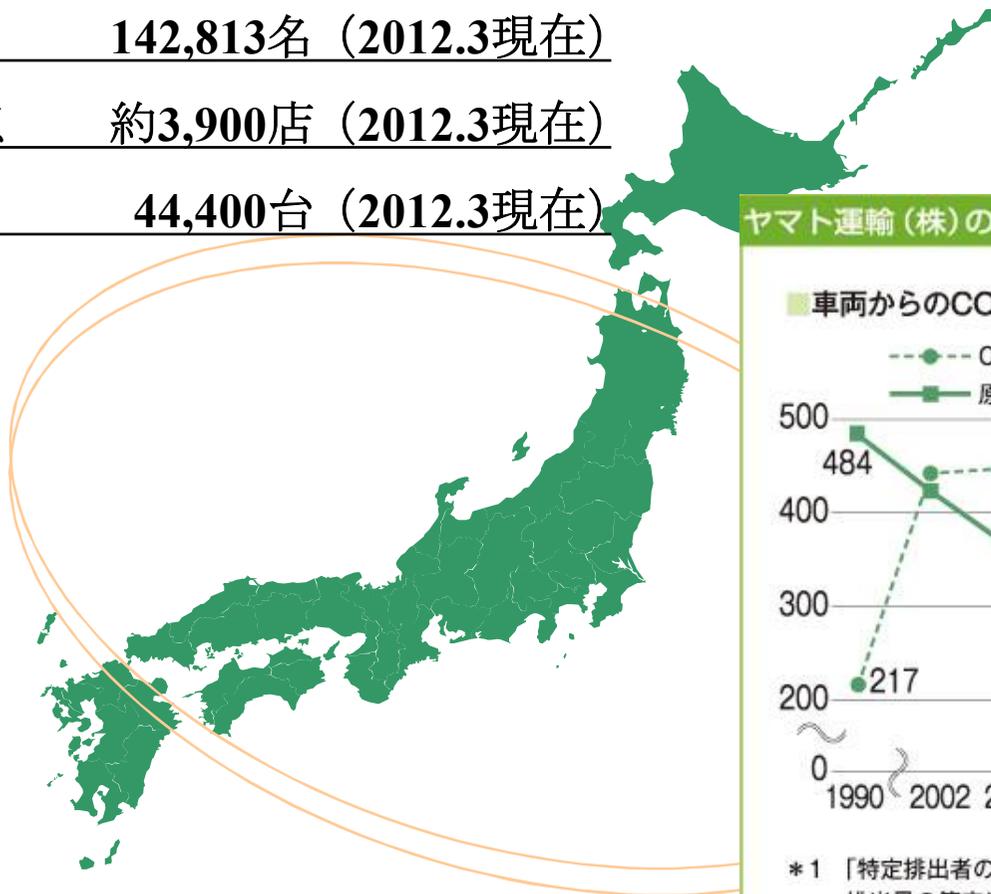


ヤマト運輸のEVに関する取り組み

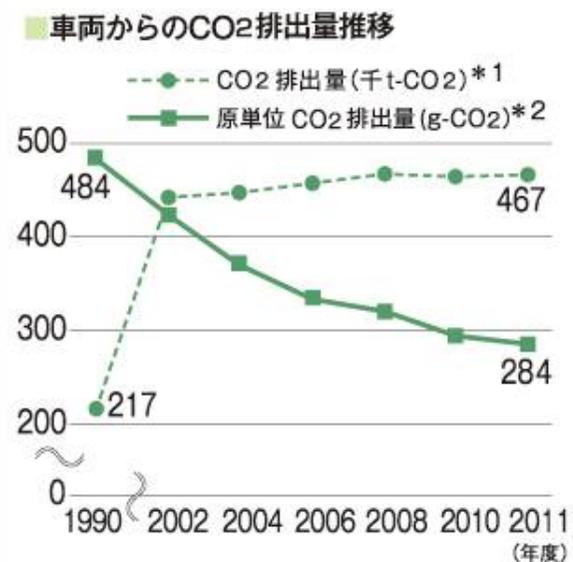
ヤマト運輸株式会社

ヤマト運輸のネットワークとCO2排出量

- 社員数 142,813名 (2012.3現在)
- 営業拠点 約3,900店 (2012.3現在)
- 車両数 44,400台 (2012.3現在)



ヤマト運輸 (株) のCO₂ 排出量削減の現状

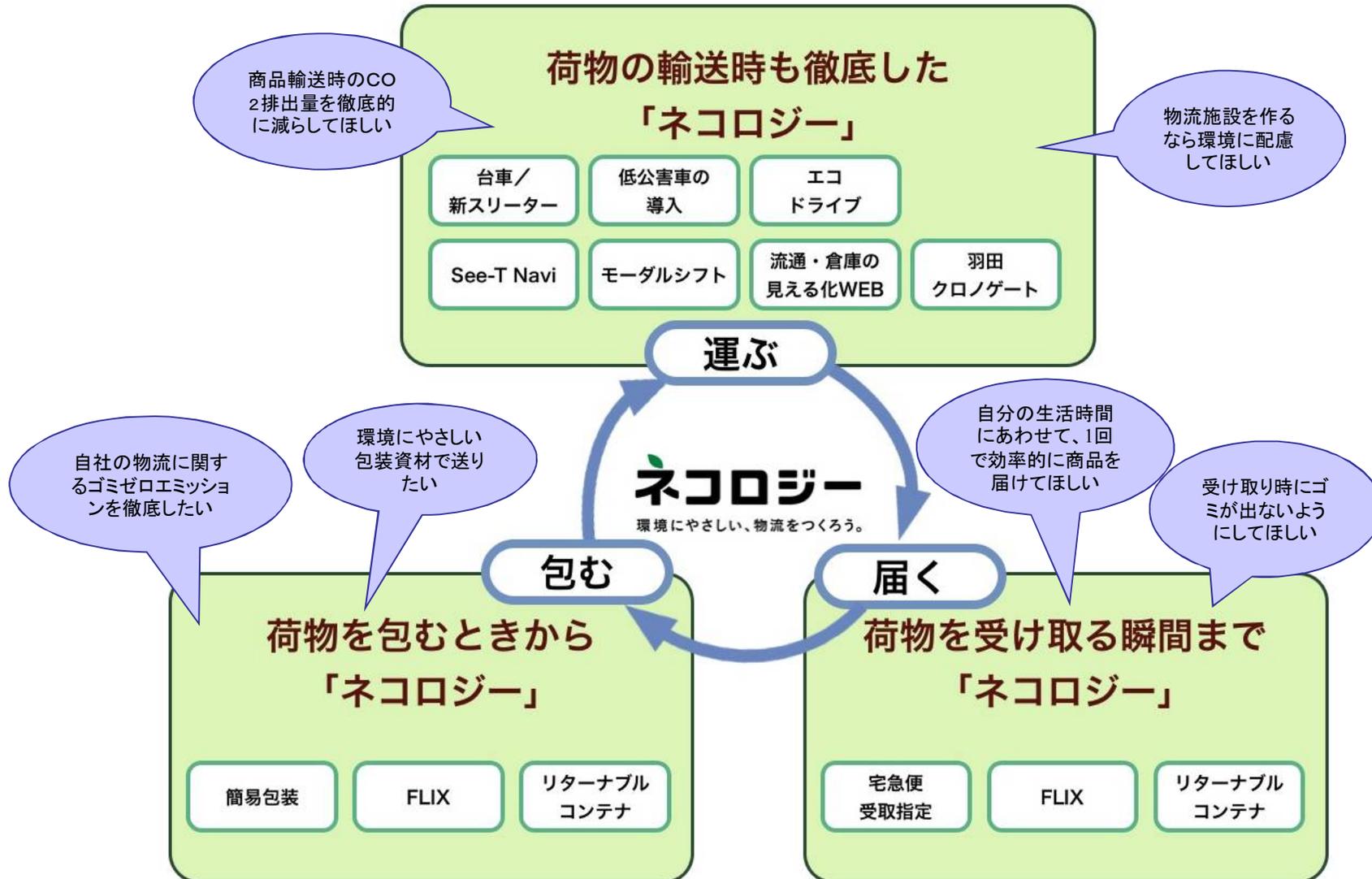


*1 「特定排出者の事業活動に伴う温室効果ガスの排出量の算定に関する省令」に基づき算出しています。

*2 原単位CO₂ 排出量 = $\frac{\text{CO}_2 \text{ 総排出量}}{\text{宅急便個数} + \text{メール便冊数 (宅急便換算値)}}$

ヤマトグループが取り組む **ネコロジー**

ネコロジーから生まれる具体的アクション



ヤマト運輸の『輸送のCO₂削減3原則』

使わない

～できるだけ車両を「使わない」集配～



使うならエコ

～「使うならエコ」な車両を選択～



使い方

～徹底的に「使い方」にこだわるエコドライブ～

※写真は安全運転とエコドライブ支援のために開発した安全・エコナビゲーションシステム「See-T Navi」



EVに関するこれまでの取り組み

- | | |
|----------|---|
| 2010年 8月 | i-MiEV 10台を安全指導用車両として導入 |
| 2010年10月 | 軽商用EVの集配実証走行試験を三菱自動車と共同で実施
ー 東京都大田区および宮城県仙台市 |
| 2011年 5月 | MINICAB-MiEV 100台の発注を発表 |
| 2011年12月 | MINICAB-MiEV 第1号車が納車
ー 2012年3月までに累計30台が納車される |
| 2012年度 | MINICAB-MiEV 70台が納車予定 |



EVを使用してみて、よかったこと

「歩くまち・京都」での環境への取り組み
「京都プロジェクト」が進んでいます

～ **ネコロジー** in 京都 ～

ヤマト運輸（株）が2011年より取り組む「京都プロジェクト」。路面電車（嵐電）とのコラボレーションに続く第2弾では、カラフルな軽商用電気自動車やリヤカー付き電動自転車が街を走り、「歩くまち・京都」の実現を応援しています。

ヤマトグループ
CSR報告書2012より



2012年2月25日、京都らしい落ち着いた色使いの絵でラッピングされた軽商用電気自動車（以下、軽商用EV）、集配用コンテナを搭載したリヤカー付き電動自転車（以下、新スリーター）と台車が京都市内に登場しました。

「今までにない色使いで京都の景観にじっくりとなじんでいますね。街では『それ、なんや？』と聞かれることも多く、『ええなあ』『京都らしいてはんなりしてるなあ』と評判も上々です」と語るのは、ヤマト運輸東福寺センターの橋本信幸センター長。

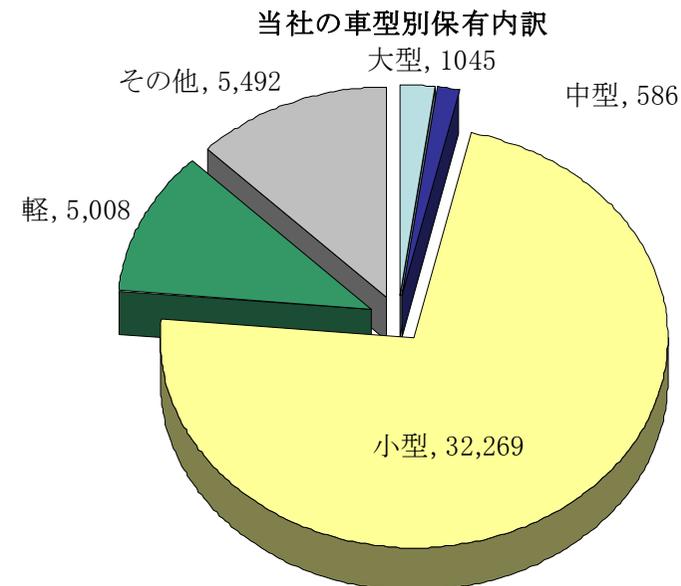
この取り組みは、ヤマト運輸が京都で展開する「京都プロジェクト」の第2弾です。ラッピングされた絵は、地元大学生を対象にした「歩くまち・京都」グッドデザインコンテストの大賞・優秀賞作品。5月末現在、軽商用EV28台が京都市内、新スリーター180台が京都全域で稼働し、街に彩りを添えています。

EVについて、課題に感じること

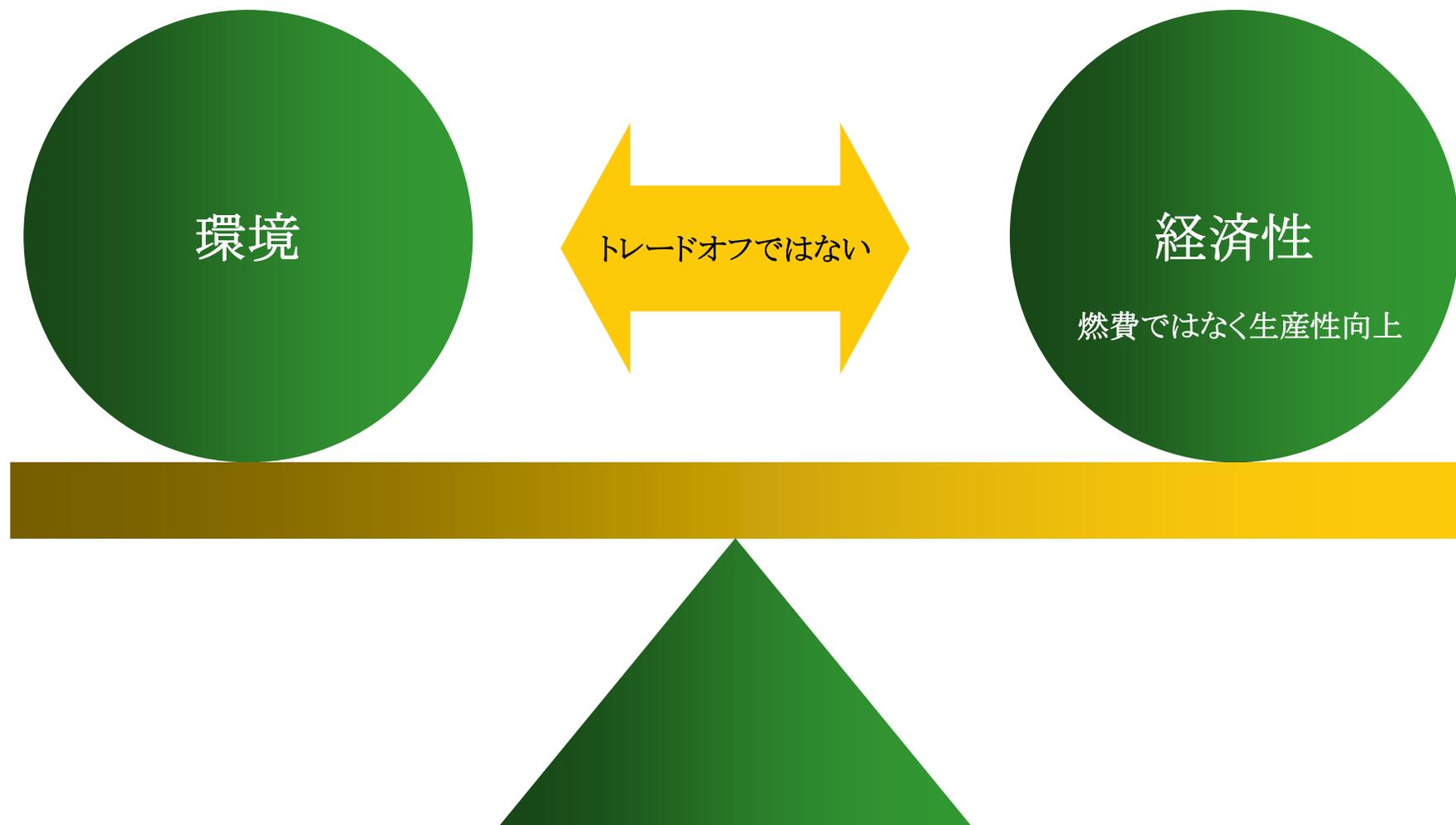
- ・ 当社でメインの小型トラックにはEVが無い
- ・ クール宅急便を輸送するための機能がないため、現状は非効率
 - 軽自動車での3温度輸送は既存車両でも困難
- ・ 一般的には課題といわれる航続距離については問題ない
 - 宅配では日別の走行距離変動が少なく、日当たり走行距離も短い
- ・ 冬場のヒーター使用時のパフォーマンス低下は不安
- ・ 価格は、エンジン車の置き換えと考えると、高い



当社のメイン集配車であるMPバン
冷凍・冷蔵・常温の3温度商品を同時配送できる



EVに着目する理由



EVの特色を活かしたトラックが登場すれば実現可能

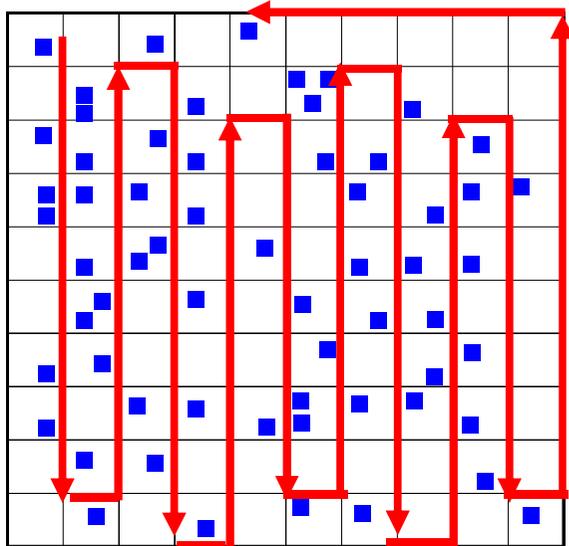
当社における生産性向上の取り組みとEVの相性①

高

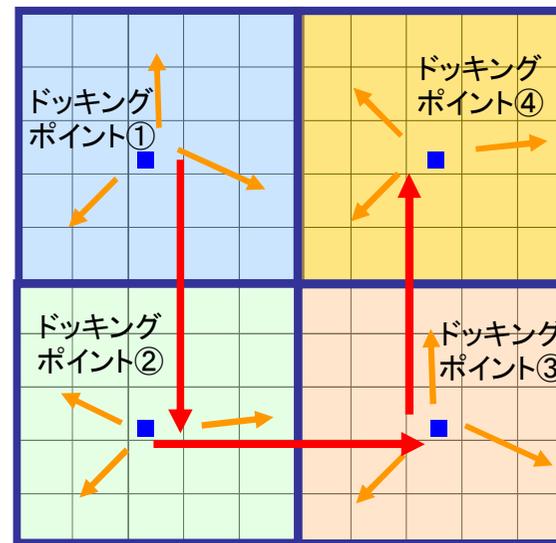
生産性



□軒先集配(ワンマン)



□チーム集配(SDプラスFCのチーム)



ドッキングポイントからはエコな集配で



走行距離

9

短

当社における生産性向上の取り組みとEVの相性②

EVの特徴を活かして、「フラットで低床」なトラックが実現できれば、当社のチーム集配における荷役作業の生産性向上に期待



※画像は東京モーターショー2011に参考出展された日野自動車のコンセプトモデル

ユーザーであるヤマト運輸からみたEVの価値

